

令和元年度

かつしかボランティア学（秋期）を開催しました！

テーマ：高齢や障がいから身近なボランティア活動を学ぶ

高齢者と関わる方や障がいのある方から実際の体験談などを聞き、高齢者疑似体験や車いす体験などその方の立場に立った体験をすることで、“ボランティアの心”を育むことを目的に開催。

【日時・実施内容・講師】

12月3日（火）13：00～16：10

1講 13：00～14：30

高齢化の現状と認知症の方との接し方
（認知症クイズ）

高齢者総合相談センター亀有
塚田 望 氏



2講 14：40～16：10

高齢者への対応（高齢者疑似体験）

個人ボランティア 齋藤 元 氏



12月17日（火）13：00～16：30

4講 13：00～14：30

福祉・ボランティア活動とは（車いす体験）

学校支援ボランティアの会
下山 利博 氏



4講 14：40～16：30 **活動先紹介**

声かけ・手助けする技術（アイマスク体験）

公益財団法人日本ケアフィット共育機構
富樫 正義 氏



【会 場】 亀有地区センター ホール

【参加者】 13名（延べ26名）



かつしかボランティア学
来年度も開催予定!!

○講座の様子

講座を通して思いやりを考えます



第1講「高齢化の現状と認知症の方との接し方」「認知症クイズ」



認知症の進行を遅らせるには「薬2割・ケア8割」周囲の関わり方がとても大切です。

第2講「高齢者への対応」「高齢者疑似体験」



高齢者の人生に関わって得られるものがたくさん。何に気をつけなくてはいいか、相手の立場で考えます。

第3講「福祉・ボランティア活動とは?」「車いす体験」



ボランティアとは相手を想うこと。車いすから見る日常の景色を体感。積み上げられた商品も高く感じます。

第4講「声かけ・手助けする技術」「アイマスク体験」



相手へ笑顔で具体的に伝えることが重要。相手に寄り添うことがとても大切です。